

市民と市長の意見交換会〈小木地区〉 質疑要旨

日時:令和7年3月29日(土) 13:30～15:00 会場:あゆす会館 多目的ホール

参加人数:22名

1. 市政について

市長より説明 40分程度	(説明内容) ○世界遺産登録後の観光入込客等について ○持続可能な島づくりについて ○令和7年度予算編成方針について ・人口減少対策 ・人口減少社会への対応 ※別紙、配布資料を基に説明する。
-----------------	---

2. 質疑や意見

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
小木町(海岸通り)	・半年前に移住し賃貸に住んでいる。住む場所もそうだが今後の子育てや生活に不安を感じている。空家の活用などで移住者をもっと受け入れられるようにして欲しい。 ・小木は特に空家バンクなどにも物件が掲載されないが、小木における解決策などどのように考えているか？	・個人情報保護の関係もあって行政主導は難しい。行政頼りではなく地域でネットワークを作り上げて欲しい。国の補助等も活用して個人、民間の力で空家のリノベーションなど活用をお願いしたい。 ・市が関わるお試し住宅も増やしていきたいと考えている。今の稼働率は7から8割程度である。地域で空家対策チームなどを立ち上げていただき、行政と連携してやっていけたらと考えている。	地域振興部
小木町(登町)	・小木の診療所は診療日が週3日間。いつでも受診できるように医療体制を充実して欲しい。 ・小木に公園(遊具)が無い、孫を遊ばせるのに国仲や羽茂などに行く、子供を遊ばせる場所が無いので何とかして欲しい。 ・埼玉県春日部市には防災頭巾が児童に配布されていた。佐渡でも大きな地震があったので佐渡でも考えたかどうか？	・遊具は設置すれば維持管理の必要性が生じ小さな事故でも管理責任を問われるので、自治体管理の遊具は全国的に少なくなっている。今後は地元にも何でも揃えられる状況ではなく南部地区としてどうするか？というような考え方が必要。病院も一緒に市全体としてサービス水準を平準化していくしかない。 ・関東周辺や南海トラフ地震の影響範囲など地域によって災害リスクが違い国の手当ても違う、佐渡で防災頭巾が最良なのか、別の対策が良いのか防災担当と共に考えさせていた	市民生活部 総務部
小木町(諏訪町)	・「柏崎原発」佐渡の人はどのような意見がありますか？ ・漁業で柏崎沖に出ると、焦げたような匂いもする。何らかの影響も考えられるので避難訓練など実施してはどうか？	・原発について市民と話す機会は少ないが、「原発はどうですか？」と聞けば私を含めて基本的に皆NOと答えるだろう。 ・原発の避難訓練は基本的に屋内退避である。 ・避難計画があるのは原発30km圏内のみ。佐渡は圏外だが船による避難シュミレーションはしているし、県に対して30km圏外の地域においても避難計画を作るように要望している。	総務部
小木町(旭町)	・佐渡空路の見通しについて教えて欲しい ・ジェットフォイルの海洋生物との衝突の報道があった。安全性の確保と老朽化に伴う更新問題について	・空路については分からない。県の発表を待つしかない。 ・ジェットフォイルはクジラなどが嫌がる超音波を発生させて衝突防止を図るほかは目視による警戒である。海洋生物などとの衝突は100%避けられない問題であり、引き続き安全運航をお願いするしかない。また更新問題については、部品の更新をしながら当面は使えたと聞いている。ただカーフェリーを含めて今後巨額の更新費用が必要で頭の痛い問題。航空路も含めて国、県とも連携していきたい。	企画部